

2010年3月期 第2四半期 決算説明会 資料

CORE TOTAL
SOLUTION

SOFTWARE

SYSTEMWARE

EMBEDDED
SOLUTION BRAND

CORE'S WAY

AGENDA

.....

I 2010年3月期 第2四半期 P 2
決算概要

II 通期業績見通し P 9
重点推進事項の進捗状況

この資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



2010年3月期 第2四半期 決算概要

(単位:百万円)

	2009年 3月期上期	2010年 3月期上期	前年 同期比
売上高	12,513	9,542	76.3%
営業利益	338	83	24.6%
経常利益	338	208	61.7%
四半期純利益	102	87	85.5%
総資産	14,239	14,745	103.6%
純資産	6,691	6,722	100.5%
EPS(円)	7.22	6.17	85.5%
BPS(円)	468.22	470.23	100.4%

<主な増減要因>

■売上高

- ・(一)昨年来の景気悪化により、主力のエンベデッドソリューションは引き続き製造業の開発投資減の影響から、非常に厳しい受注状況で推移
- ・(一)ビジネス、プロダクト分野も顧客のIT投資の抑制、先送り傾向の影響で減収

■営業利益

- ・(一)大幅減収に対し、外部委託費の適正化、業績見合いの総人件費抑制、グループ間接部門合理化等のコスト削減で黒字確保

セグメント別の損益概況（1/2）

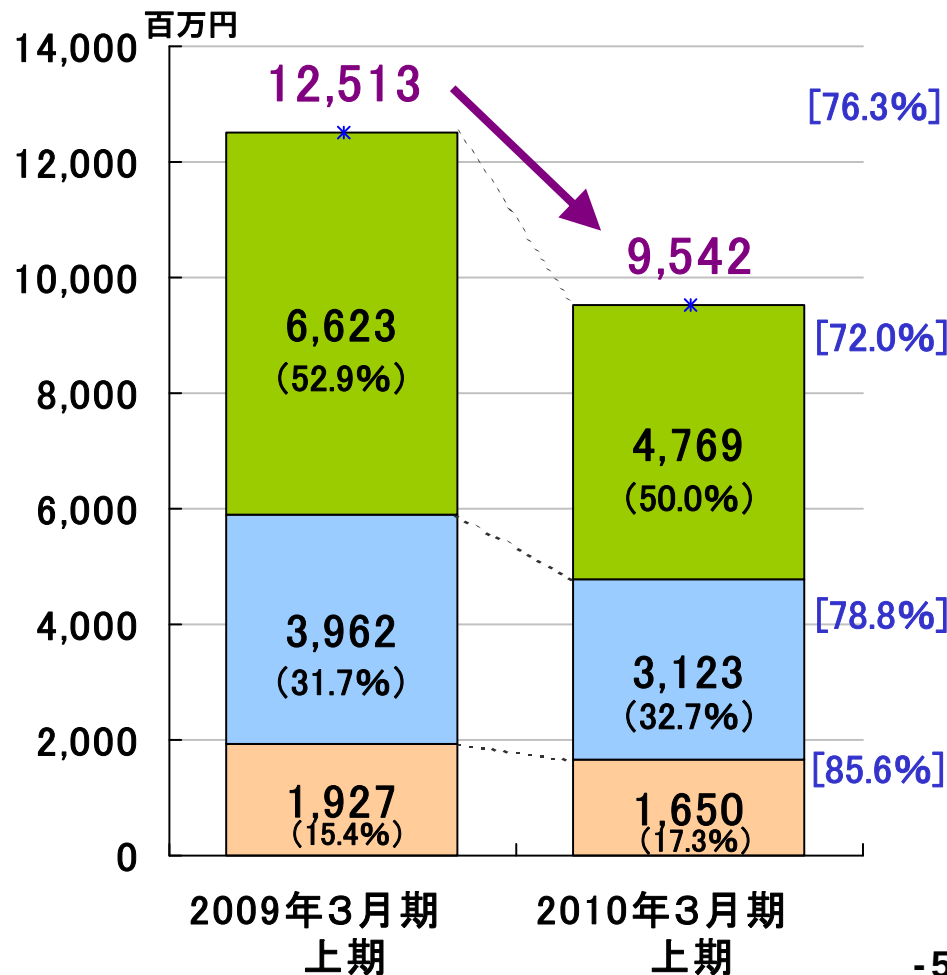
（単位：百万円）

	2009年3月期上期		2010年3月期上期		前年同期比
		構成比		構成比	
売上高	12,513	100.0%	9,542	100.0%	76.3%
エンベデッドソリューション事業	6,623	52.9%	4,769	50.0%	72.0%
ビジネスソリューション事業	3,962	31.7%	3,123	32.7%	78.8%
プロダクトソリューション事業	1,927	15.4%	1,650	17.3%	85.6%
営業利益	338	100.0%	83	100.0%	24.6%
エンベデッドソリューション事業	352	—	37	—	10.7%
ビジネスソリューション事業	△1	—	90	—	—
プロダクトソリューション事業	△12	—	△45	—	—

セグメント別の損益概況（2/2）

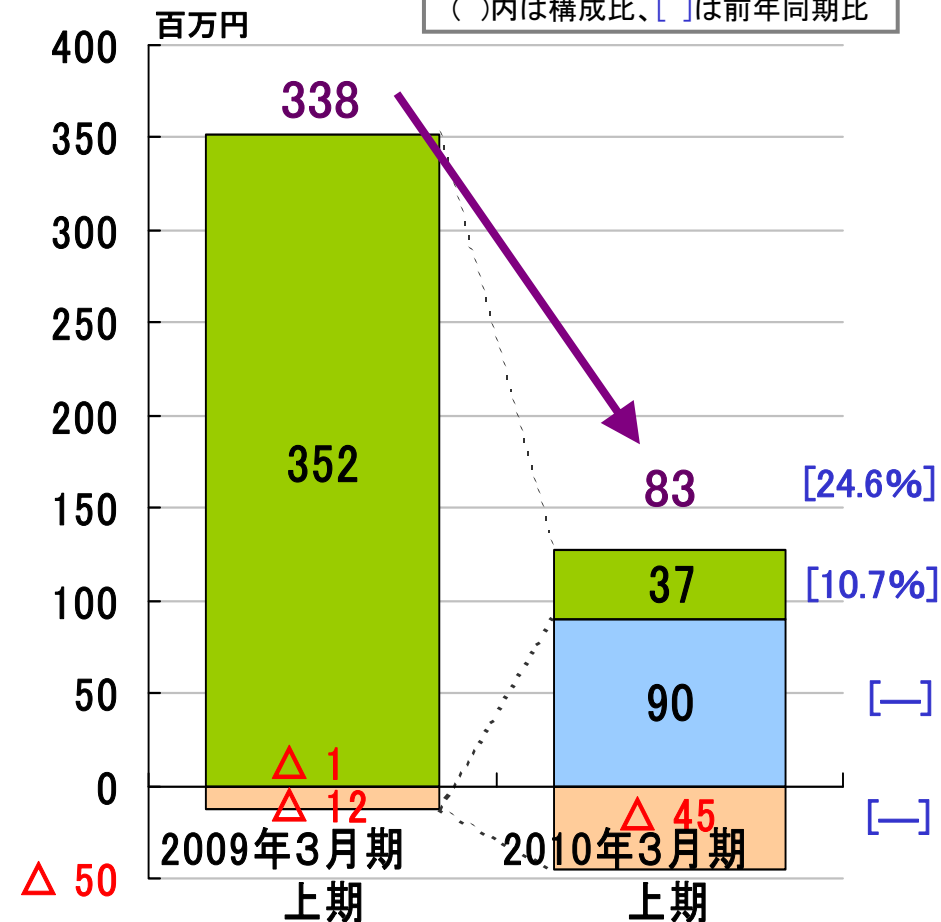
<売上高>

■ :エンベデッドソリューション事業 ■ :ビジネスソリューション事業 ■ :プロダクトソリューション事業



<営業利益>

()内は構成比、[]は前年同期比



売上高の増減要因

エンベデッドソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期上期		2010年3月期上期		前年 同期比
		構成比		構成比	
携帯電話 通信端末	1,697	25.6%	1,392	29.2%	82.0%
通信インフラ	713	10.8%	623	13.1%	87.4%
自動車制御 車載システム	820	12.4%	500	10.5%	60.9%
情報家電	1,035	15.6%	561	11.8%	54.2%
FA 装置制御	751	11.4%	559	11.7%	74.5%
その他	1,604	24.2%	1,131	23.7%	70.6%
Total	6,623	100.0%	4,769	100.0%	72.0%

<主な増減要因>

前年下期から続く投資抑制により売上減少

自動車産業各社の開発投資減退により大幅減

家電メーカーの事業撤退、統廃合の影響及び開発投資抑制により大幅減

前年上期に比べ、液晶製造設備等の生産ライン関連の開発投資が縮小

売上高の増減要因

ビジネスソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期上期		2010年3月期上期		前年 同期比
		構成比		構成比	
金融 ソリューション	1,581	39.9%	1,274	40.8%	80.6%
製造 ソリューション	625	15.8%	337	10.8%	54.0%
流通 ソリューション	490	12.4%	442	14.2%	90.2%
公共 ソリューション	797	20.1%	537	17.2%	67.4%
Web ソリューション	467	11.8%	530	17.0%	113.4%
Total	3,962	100.0%	3,123	100.0%	78.8%

<主な増減要因>

銀行系大型プロジェクト収束の影響により減少

自動車等の製造業向けソリューションが大幅減少

前年上期と比べ、電信、電力等の大型公共案件の収束により減少

売上高の増減要因 プロダクトソリューション事業

(単位: 百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期上期		2010年3月期上期		前年 同期比
		構成比		構成比	
IT資産管理・ PLMソリューション	561	29.1%	348	21.1%	62.0%
ITAM製品	290	15.0%	243	14.8%	83.8%
PLM製品	209	10.9%	82	5.0%	39.6%
行動分析製品 (Analyst's Notebook)	61	3.2%	21	1.3%	35.6%
電子テロップ	525	27.3%	605	36.7%	115.2%
開発支援 ツール	442	23.0%	326	19.8%	73.7%
その他	397	20.6%	370	22.4%	93.1%
Total	1,927	100.0%	1,650	100.0%	85.6%

<主な増減要因>

ITAM製品での顧客IT投資予定の先送り、製造業全体の投資抑制に伴うPLM製品の受注減、また、行動分析製品では政権交代の影響による予算執行遅れの影響により大幅減少

放送業、公営競技の顧客・受注確保により売上増

エンベデッドシステムツール等の顧客投資抑制により売上減

**通期業績見通し
重点推進事項の
進捗状況**

通期業績見通し

通期業績見通し（1/2）

（単位：百万円）

	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
売上高	25,038	100.0%	20,000	100.0%	79.9%
エンベデッドソリューション事業	12,981	51.9%	9,350	46.8%	72.0%
ビジネスソリューション事業	7,766	31.0%	6,350	31.7%	81.8%
プロダクトソリューション事業	4,291	17.1%	4,300	21.5%	100.2%
営業利益	1,103	100.0%	1,000	100.0%	90.7%
エンベデッドソリューション事業	804	72.9%	530	53.0%	65.9%
ビジネスソリューション事業	84	7.7%	240	24.0%	282.7%
プロダクトソリューション事業	213	19.4%	230	23.0%	107.6%
経常利益	1,069	---	1,000	---	93.5%
当期純利益	517	---	550	---	106.4%
EPS(円)	36.39	---	38.71	---	106.4%

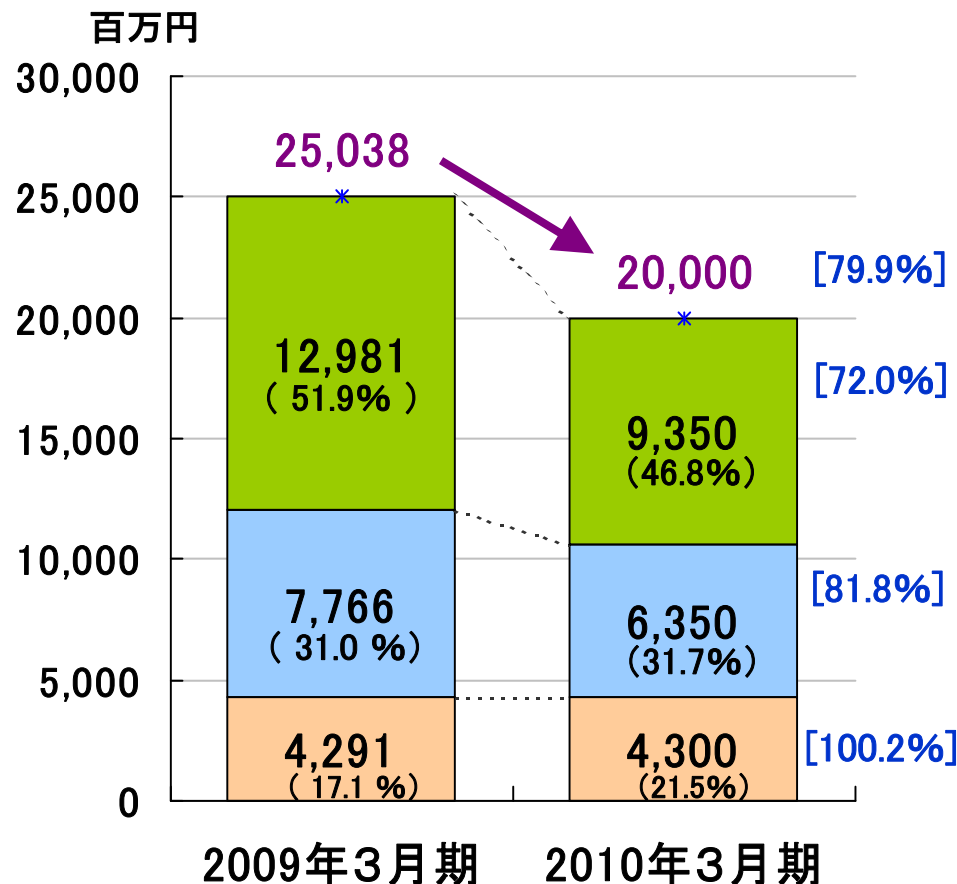
通期業績見通し（2/2）

<売上高>

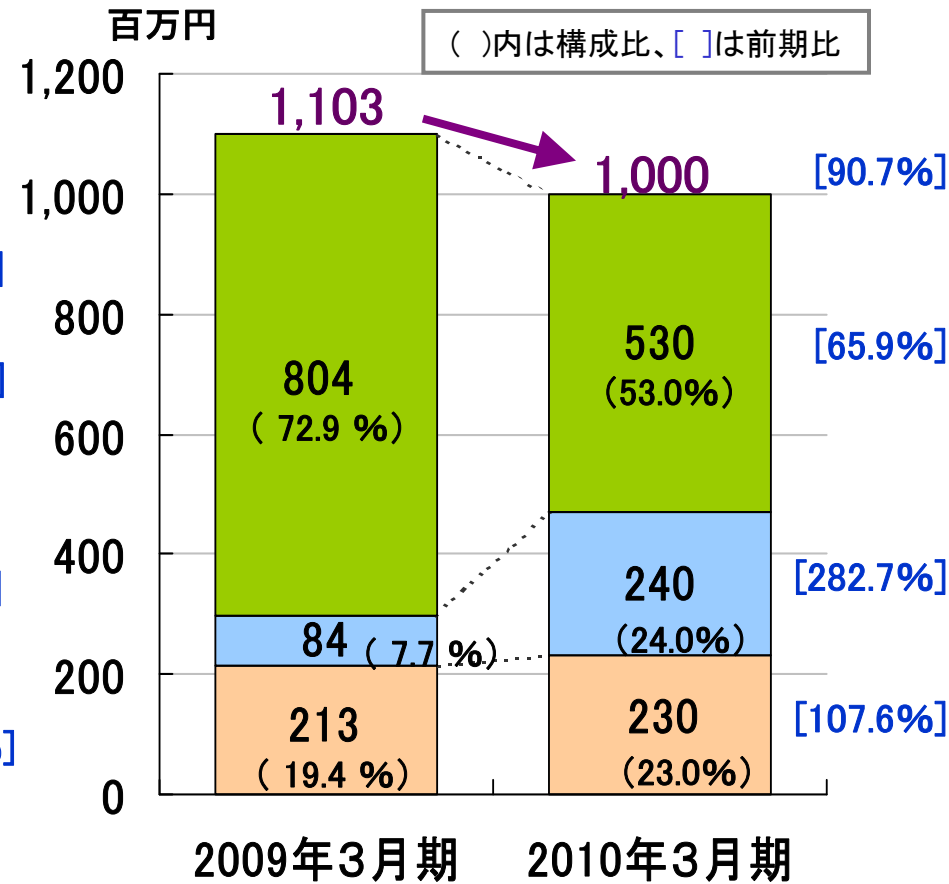
■ :エンベデッドソリューション事業

■ :ビジネスソリューション事業

■ :プロダクトソリューション事業



<営業利益>



通期業績見通し（事業ポートフォリオ別 1/3）

エンベデッドソリューション事業

（単位：百万円）

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
携帯電話 通信端末	3,185	24.5%	2,670	28.6%	83.8%
通信インフラ	1,384	10.7%	1,220	13.0%	88.1%
自動車制御 車載システム	1,596	12.3%	1,120	12.0%	70.2%
情報家電	1,953	15.1%	1,110	11.9%	56.8%
FA 装置制御	1,510	11.6%	1,050	11.2%	69.5%
その他	3,351	25.8%	2,180	23.3%	65.1%
Total	12,981	100.0%	9,350	100.0%	72.0%

通期業績見通し（事業ポートフォリオ別 2/3）

ビジネスソリューション事業

（単位：百万円）

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
金融 ソリューション	3,076	39.6%	2,710	42.7%	88.1%
製造 ソリューション	1,157	14.9%	630	9.9%	54.4%
流通 ソリューション	1,041	13.4%	900	14.2%	86.4%
公共 ソリューション	1,578	20.3%	1,040	16.4%	65.9%
Web ソリューション	912	11.8%	1,070	16.9%	117.2%
Total	7,766	100.0%	6,350	100.0%	81.8%

通期業績見通し（事業ポートフォリオ別 3/3）

プロダクトソリューション事業

（単位：百万円）

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
IT資産管理 PLMソリューション	1,028	24.0%	1,150	26.8%	111.9%
ITAM製品	604	14.1%	740	17.2%	122.4%
PLM製品	331	7.7%	200	4.7%	60.4%
行動分析製品 (Analyst's Notebook)	92	2.2%	210	4.9%	227.5%
電子テロップ	1,511	35.2%	1,720	40.0%	113.8%
開発支援 ツール	780	18.2%	680	15.8%	87.2%
その他	971	22.6%	750	17.4%	77.2%
Total	4,291	100.0%	4,300	100.0%	100.2%

重点推進事項の進捗状況

当社グループ事業環境の認識

＜環境認識＞

- ・企業の投資抑制は昨秋の景気悪化以来、依然厳しい状況で推移
- ・顧客の品質ニーズ、コストダウン要請が一層高まる中、情報サービス業界の構造変革に猶予のない状況
- ・クラウドコンピューティングにより、業界ビジネスモデルに地殻変動

＜経営方針＞

経営・事業のゼロベースの構造改革で、足下の収益向上に努める

研究開発、人材育成など中長期の成長源泉となる仕込みにも注力

＜上期施策＞

1. 経営体制の新生
2. 事業構造の改革
3. 新たなビジネスモデルの追求

＜通期施策＞

1. 受注強化
2. 事業構造改革の継続

下期受注強化に向けた施策

新たなビジネスモデルの追求

コア製品展開

ITAM/PLM、情報分析製品、電子テロップ

コンサルティング

戦略ビジネス推進本部

エンベデッド技術のシームレス展開

営業統括本部

堅調な業務・上流へのシフト
独自技術を付加価値として提供

コア製品の競争力・ラインナップ強化
ものづくりソリューション事業の拡大

エンベデッドソリューション

受注ソフト開発

ビジネスソリューション

受注ソフト開発

プロダクトソリューション

製品・サービス提供

新たなビジネスモデルの追求

コア製品展開

新製品投入による下期受注の確保と市場シェア拡大へ

製品名称	リリース	特 徴
IT資産管理ソリューション	⇒上期売上243百万、受注残150百万	
ITAM 4.94	2009/11	Windows7及びITIL V3へ対応
ITAM 新バージョン	2010/04	英語、中国語対応による海外展開
情報分析ソリューション	⇒上期売上 21百万、受注残172百万	
Analyst 's Notebook	2009/09	情報ビジュアル機能強化、地図情報連携
i BASE	2010/01	情報分析用統合データベース
電子テロップ	⇒上期売上605百万、受注残791百万	
GRID-MF32HDX/PCle	2009/03	PC内蔵型デジタルハイビジョン対応電子テロップ
環境分析自動化システム	⇒上期売上 43百万、受注残 50百万	
全自動BOD測定装置	2009/07	BOD水質分析の全自動化を実現

新たなビジネスモデルの追求

コンサルティング

コアの
コンサルティング
フォーカス



官公庁、自治体向けにシステム・情報統合を
キーワードにしたプライベートクラウドを提供

ソフトウェア

運用

戦略、
ナレッジ
アプリ
ケーション

機能

ハードウェア

<コア製品群>

ITAM[®]
for Embedded

ITAM

e-OpenPDM

i2 Analyst's Notebook[®]

<2009年度目標>

官公庁、自治体にフォーカス

総務省 共同利用システム基盤

他省庁 警察庁、税関、防衛省

自治体 神奈川県、東京都、宮城県

売上 2.0億円

(官公庁 1.5億円)

(自治体 0.5億円)

上期実績 売上51百万、受注残200百万

⇒ 通期売上は2.6億を計画

新たなビジネスモデルの追求

エンベデッド技術の
シームレス展開

ものづくり事業を支えるエンベデッド技術の棚卸、差別化

エンベデッド、ビジネス、プロダクト事業の連携強化

点から線、線から面へのトータルサービス強化

組み込み開発技術

Linux, Android, Symbian
, Windows Embedded

自社独自IP

プラットフォーム, STPエンジン, 組み込みソフトウェア
, 開発環境, 組み込み機器管理, GPS

面積ビジネス

特化技術による
他社との差別化

携帯電話、情報家電
車載エレクトロニクス、
FA・装置制御

アライアンス

成長分野(環境、医療、エネルギー)を中心に
コアが提供する付加価値を立体的に拡大

ものづくり

エンドユーザ

事業構造改革の進捗状況（1/2）

経営・事業のゼロベースの構造改革で、足下の収益を向上

コスト構造

- ・ ゼロベースでの見直し固定費圧縮
- ・ 調達コストの削減
⇒四半期別販管費実績の前年比は
1Qで△12%、2Qで△20%と削減

開発構造

- ・ 上期で増加した空き工数を内製化により低減、3Qは前年並みに収束へ
- ・ 不採算プロジェクトの未然防止

管理構造

- ・ コアビル／コア第2ビルへ本社機能及び東京地区の事業を集約
- ・ 関連子会社再編による適正化を実施

事業構造改革の進捗状況（2/2）

事業構造改革を断行し、利益確保できる企業体質に！

（単位：百万円）

	2010年3月期1Q			2010年3月期2Q		
	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	4,571	—	79.3%	4,971	—	73.6%
売上原価	3,778	82.7%	81.2%	3,912	78.7%	72.2%
売上総利益	793	17.3%	71.6%	1,058	21.3%	79.4%
販売費及び一般管理費	952	20.8%	87.7%	816	16.4%	80.3%
営業利益	△-159	△3.5%	—	242	4.9%	76.6%
経常利益	△105	△2.3%	—	314	6.3%	103.6%
四半期純利益	△71	△1.6%	—	159	3.2%	174.7%

売上原価は内製化及び調達コスト削減により売上高構成比を4%低減

ゼロベースでのコスト削減の結果販管費は△136百万、売上高構成比で4.4%低減

管理業務シェアード化により更なる固定費圧縮を推進！

配当政策

配当に関する方針

- 「株主配当」「将来投資」「内部留保」に3等配分
- 連結配当性向30%以上を継続

配当推移および計画

	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 計画
配当金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
連結配当性向 (%)	33.7	41.1	134.2	55.0	51.7
EPS(円)	59.36	48.71	14.90	36.39	38.71

ご静聴ありがとうございました。

.....

お問い合わせ 社長室 室長 新 幸彦 (y-shin@core.co.jp)
経営管理・IR担当 金城 広 (kanegon@core.co.jp)

〒154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル
TEL. 03-3795-5111 FAX .03-3795-5102



私たちコアグループは、大切な地球環境を守っていくため、社員1人ひとりの意識向上や取り組み姿勢を「e-Core」マークに込め、様々な活動を行っております。